

平成 31 年度 各部局予算説明資料

(農業振興部、林業振興・環境部、水産振興部、観光振興部)

中山間地域を支えるための支援

◆生産基盤整備への支援

・こうち農業確立総合支援事業 64,102千円

拡 農地中間管理事業 137,913千円

(拡充)担い手へまとまった農地を提供する者に対する補助を拡充

◆中山間地域での様々な活動への支援

・中山間地域等直接支払事業 826,961千円

・多面的機能支払交付金事業 585,456千円

中山間地域の未来を担う人材の確保・育成に向けた支援

◆担い手の確保支援

・農業次世代人材投資事業 (国)477,302千円

一定の要件を満たす新規就農者に対する支援

(準備型:150万円/年、開始型:最大150万円/年の給付)

・土佐和牛担い手確保対策事業 917千円

土佐和牛の担い手を確保するため、生産地での研修実施支援や就農に向けた仕組み作り

新 担い手育成畜舎整備事業 → 2月補正で前倒し実施

畜産試験場での担い手研修施設として、担い手育成牛舎を整備

・畜産経営技術指導事業 1,852千円 (うち、畜産新規就農者確保と支援指導の実施)

新規就農者の確保、個別就農研修等による担い手育成を支援

◆担い手の育成支援

新 産地受入体制整備費補助金 6,669千円

産地提案書による新規就農者の受入体制の強化に向けた取り組みを行う市町村を支援

新 新たな担い手支援事業費補助金 80,894千円

産地提案書等により実践研修を行う新規就農希望者や研修受入機関等への補助を行う

・女性農力向上支援事業 2,203千円

・農業担い手育成センター研修推進事業 106,534千円

新規就農者等の確保育成や農家への先進技術の普及を目的とした研修や先進技術の実証

・担い手経営発展支援事業 35,745千円

農業経営の法人化等を支援

新 農業法人等雇用促進支援事業費 5,600千円

農の雇用事業を活用して雇用就農を行う農業者等に対して、経費の上乗せ支援

中山間地域の産業づくりへの支援

◆生産力強化への支援

拡 園芸用ハウス整備事業 597,948千円

(拡充)輸出拡大への取組支援を追加

拡 環境制御技術高度化事業 100,893千円

(拡充)環境制御装置と併せて省力化機器等の導入を支援

・レンタル畜舎施設等整備事業 42,931千円

・畜産競争力強化整備事業 179千円

・こうちの地鶏生産基盤拡大事業 8,071千円

・土佐あかうし受精卵移植用乳用牛貸付事業 80,580千円

・土佐あかうし改良増殖推進事業 30,488千円

・土佐あかうし受精卵移植強化事業 28,376千円

新 次世代こうち新畜産システム推進事業 5,790千円

生産性向上のための発情発見装置と情報共有に係るIoT機器の活用支援

新 土佐和牛経営安定事業 30,600千円

肉用牛経営に要する経費に対する市町村が行う基金造成への支援

・土佐ゾロー生産体制整備強化事業 8,281千円

・土佐はちきん地鶏普及対策事業 5,964千円

新 畜産環境対策推進事業 4,767千円

(拡充)地域で取り組む環境対策技術の導入促進を支援

・県産米需要拡大推進事業 10,706千円

拡 土佐茶産地再生加速化事業 5,350千円

(拡充)新植に係る経費の補助を追加

・薬用作物指導力強化促進事業 3,069千円

◆販路開拓への支援

拡 6次産業化推進事業 27,606千円

(拡充)6次産業化に取り組む人材育成を目的とした各種セミナーの開催を一元化し、6次産業化サポートセンターに委託

・土佐茶プロモーション推進事業 3,545千円

・販路開拓ステップアップ事業 1,998千円

中山間地域の発展に向けた支援

・普及指導活動推進事業 20,317千円

・集落営農支援事業 86,184千円

拡 複合経営拠点支援事業 67,580千円

(拡充)中山間農業複合経営拠点を推進するため、市町村が過疎対策事業債を充当して実施する事業を支援

拡 中山間地農業ルネッサンス事業 19,790千円

(拡充)アグリ事業戦略サポートセンターの支援対象に直販所を追加、組織間連携による事業戦略の策定と実行を支援

・東京農業大学連携推進事業 1,953千円

農業ロールモデル(中山間農業複合経営拠点・集落営農)の取組

中山間農業複合経営拠点

平成30年度複合経営拠点の取組

(1) アグリ事業戦略サポートセンターの設置

- ★アグリ事業戦略サポートセンターの設置(6月)
- ・事業戦略の策定からPDCAサイクルのフォローを一元的にサポートする体制を構築

(2) 事業戦略の策定と実行支援

- ★事業戦略の策定支援(6拠点)
- ・個別訪問による事業戦略策定のスケジュール確認
- ・サポートセンターによる決算書分析及び業務内容ヒアリング(6月)
- ・課題解決及び事業戦略策定ワークショップ(7/11~12/26)
- ・拠点の核となる法人(農業公社)設立支援(~12月)
- ★事業戦略の実行支援(10拠点)
- ・個別訪問で事業戦略の実行状況を確認(5/18~12/26)
- ・サポートセンターと関係機関による事業戦略個別フォローアップ(7/12~12/26)

- ・H30新規1地区→須崎市「(株)土佐くろしお村 村営みのり」
- ・新規候補2地区→宿毛市、北川村
- ・事業戦略の策定地区10⇒15地区

(3) 拠点の経営強化

- ★先進技術、園芸品目等の導入・定着
- ・先進技術の現地見学会
- ・本山町：水田の水管理支援システム(バディーウォッチ 8/7)
- ・四万十市西土佐：簡易雨よけ施設等のリース(新規就農者支援策 10/3)
- ・南国市：次世代型園芸ハウス(パブリカ 11/8)
- ・メーカー連携：ドローンの農業活用について(11/8)
- ★ネットワークの構築(複合経営拠点発展交流会 9/7:100名)
- ・IoT技術の紹介(NTTとの共催：アグリネットなど) かつ：KSAS)
- ・取組事例紹介、講演会ほか
- ・PRパンフレットVer.3作成・配布

平成30年度集落営農の取組

(1) 集落営農塾の開催実績

・組織化コース	15カ所	22回	
・ステップアップコース	10カ所	18回	
・法人化コース	9カ所	15回	
・法人経営コース	6カ所	13回	合計40カ所 68回

★集落営農組織の設立

- ・津野川営農組合(四万十市西土佐 4月)
- ・(農)梅ノ木ファーム(高知市鏡 4月)
- ・ERCファーマーズ(四万十町 11月)
- ・上長谷集落営農組合(三原村 12月)
- ・(農)平田の百姓屋(宿毛市 12月)

★設立見込み

- 法人：室戸市庄毛、いの町上東
- 組織：土佐清水市加久見、梶原町越知面、赤岡町北部

★集落営農法人 24⇒28法人(見込み)

★こうち型集落営農組織 59⇒70組織(見込み)

(2) 集落営農組織のステップアップ

- ★園芸品目等実証ほの設置：19箇所(見込み)
- ★啓発用DVDの作成(12月)

(3) 事業戦略づくりへの支援

- ★事業戦略の策定及び実行支援
- ・アグリ事業戦略サポートセンターによる集落営農塾の開催 6/28(9法人)
- ・地域営農アドバイザーによる集落営農塾の開催 7/11,30・8/17,29,30・10/22,23,24・12/19,20 など
- ★集落営農法人ネットワーク高知の活動支援
- ・平成30年度総会・研修会(7/10)
- ・先進地視察研修(大分県11/29~30)

26法人で事業戦略着手→14法人で策定

集落営農

ロールモデルの取組

(1) ロールモデルの取組地域

- (一社)なはりの郷
 - ・ナス、ジャガイモ、タマネギ、水稲に加え、今年度はキュウリ、ブロッコリー、イチジク栽培を指導
 - ・ほ場管理や労務管理の効率化に向けて、かつたスマートアグリシステム(KSAS)を12月から導入
 - ・集落営農組織(百石ファーム)と連携して農産物を販売
 - ・H30年度事業で園芸用ハウスを整備(16a:ナス栽培)
- (一社)四万十農産
 - ・ショウガ、ジャガイモ、サトイモ、ネギ、クリ、水稲の栽培指導
 - ・地図情報、労務管理システムのIoT導入に向けた取り組みを支援
 - ・コンバイン、トラクター野菜移植機、一次加工処理場などの導入支援
 - ・農地耕作条件改善事業の活用でショウガ、栗などの暗渠排水対策を実施(4.7ha)
- (公財)三原村農業公社
 - ・「(一社)三原村集落活動センターやまびこ」を設立(H30.3)
 - ・米のブランド化に向けて、集落活動センターに食味計を導入、島根県への先進地視察を実施
 - ・「(農)みはらやまびこ」シシトウ19aの栽培指導(販売額1,000万円超見込)
 - ・「フォレストファーマーズ下切」のキクラゲ販売
 - ・15aの栽培指導及び、蒸気コンテナ洗浄機、殺菌機の導入支援



ナスハウスの導入



ユズの選果

(2) 集落活動センターと複合経営拠点の協力・連携

- ・事業戦略づくりやフォローアップの中で、複合経営拠点と集落活動センター等との連携を検討

ロールモデルの取組

(1) 農作物栽培、法人化、組織間連携に向けた取組

- ・室戸市吉良川：庄毛集落営農組合の法人化支援(H31.2月設立予定)、耕作放棄地の解消等を計画
- ・香南市赤岡：集落営農組織設立と稲作経営に向けた協議を継続して実施(H31.2月設立予定)
- ・高知市鏡：「(農)梅ノ木ファーム」設立(H30.4月、梅の販売、イタドリ20a、ラッキョウ1a栽培、集落活動センターの取組についてワークショップを実施し、課題等を整理中
- ・いの町上東：上東地区営農組合の法人化支援(H31.1月設立予定)、作業受託、加工などを検討
- ・佐川町斗賀野：多面的支払組織で、地区の今後の営農に係る調査を実施し、組織設立などについて検討中
- ・津野町郷：口目ヶ市での集落営農組織設立に向けた取り組みを継続して支援
- ・梶原町四万川：龍王営農組合で漬物用のフキ、チャーテの栽培支援
- ・中土佐町大野見南：七面鳥生産組合に対して、6次産業化支援チームで加工販売等の取組を支援
- ・四万十町家地川：集落活動センターの設置と合わせて、学校を活用した短期、中期宿泊(アルバイト、研修、移住など)について継続して協議を実施
- ・四万十町松葉川：基盤整備に向けた土地改良区を設立(9/16)、集落営農法人設立準備会を発足(4/26)し、H32の設立に向けた協議を継続実施
- ・四万十市東富山：ブッシュカン60aの栽培と、H31から水稲1haの栽培に向けた支援を実施

(2) 集落活動センターの加工関連部門での取組

- ・香美市美良布：集落活動センターのワークショップで検討した野草茶の取り組みを検討中、「にろうまいこ」の販売支援
- ・高知市七ツ淵：台風や寒波で四方竹の収穫量が減少、次年度に向けた取り組みを検討中
- ・いの町柳野：イタドリ栽培(12a+H31拡大8a)の栽培とソバ栽培・加工への継続支援、簿記記帳指導を実施
- ・黒潮町佐賀北部：モーニングサービス開始に向けた協議を実施、加工品の販売支援
- ・黒潮町蛸瀬川：6次産業化チームに参加し、地元食材を活用した加工品開発(メンマ)を支援



蛸瀬川：試作中のメンマ

(3) 集落活動センターの農業関連部門での取組

- ・土佐町石原：農業部門の設置を検討中で、集落営農塾や先進地視察への参加を支援
- ・須崎市安和：イタドリ、ニンニクの栽培を継続して支援
- ・津野町白石：集落活動センター設立と農業・加工部門(受託、梅栽培)設置について継続検討
- ・梶原町越知面：おちめん営農組合の設立(H30年度末)に向けた支援と合わせて、ホウレンソウの栽培指導を実施
- ・土佐清水市下川口：貝の川集落の遊休農地を活用した香酸柑橘栽培を計画
- ・大月町姫ノ井：農家レストランの開設(2/13プレオープン)に向けた支援、モチ米(10a)栽培支援と合わせて、作業受託等の体制づくりに向けた協議を計画

複合経営拠点におけるH31の取組

- (1) 事業戦略の策定と実行
 - ・アグリ事業戦略サポートセンターによる事業戦略の策定支援
 - ・事業戦略の着実な実践へのフォロー(個別面談やウェブ遠隔会議)
- (2) 拠点の経営強化
 - ・組織体制の強化に向けた、労務管理等の人材育成を支援
 - ・先進技術、園芸品目等の導入に向けた、先進技術の現地見学会の開催
 - ・スマート農業の導入支援
- (3) 組織間連携の強化
 - ・地域農業戦略による集落営農組織や集落活動センター等との連携
 - ・企業、大学等との連携によるIoTやICT等を活用した省力化装置、機械開発、生産販売の拡大
- (4) 新規掘り起こし
 - ・拠点構想策定セミナーによる拠点設立に向けた構想策定支援
 - ・個別訪問による取り組み意欲の醸成
 - ・組織内の合意形成及び法人設立支援

(1) 集落活動センター設置地区

- ・集落リーダー、組織代表者との話し合いの場づくり、集落営農塾等への参加呼びかけ
- ・農業部門の設置、組織間連携等に向けた情報提供と合わせて、作物栽培の取組や計画がある集活センターへ、栽培技術指導や農業部門設置などへの支援
- ・6次産業化に向けて、セミナー等への参加、加工品試作、専門家派遣支援

(2) 集落活動センター未設置地区

- ・住民説明会での「農業部門」の説明・提案
- ・市町村「農業部署」への協議・調整と取り組み支援
- ・候補地区(リーダー)に対して、集落営農塾への参加呼びかけ
- ・候補地区代表者等への個別訪問と「農業部門」の情報提供
- ・集落営農組織との連携に向けた意識啓発、取組事例紹介

(3) 組織間連携の取組

- ・複合経営拠点、集落営農組織、集落活動センターの連携に向けた情報提供、先進地視察

集落営農におけるH31の取組

- (1) 集落営農の裾野の拡大
 - ・集落営農塾(組織化コース)の計画的な開催
 - ・啓発用DVDの活用と組織化に向けた集落座談会等の実施
- (2) こうち型集落営農と法人化へのステップアップ
 - ・集落営農塾(ステップアップ・法人化コース)の計画的な開催
 - ・園芸品目等の導入・拡大に向けた実証ほの設置
 - ・法人化に向けた計画作成から設立までを支援
- (3) 事業戦略づくり
 - ・集落営農塾(法人経営コース)の計画的な開催
 - ・ビジョン・事業戦略の策定・見直し及び実行支援
 - ・園芸品目転換、人材確保へのリフト支援
- (4) 組織間連携の推進
 - ・地域農業戦略による集落営農組織や複合経営拠点等との連携
 - ・組織間連携に向けた各地区協議会の設置
 - ・地域営農アドバイザー等の派遣

平成31年度の活動のロールモデルの

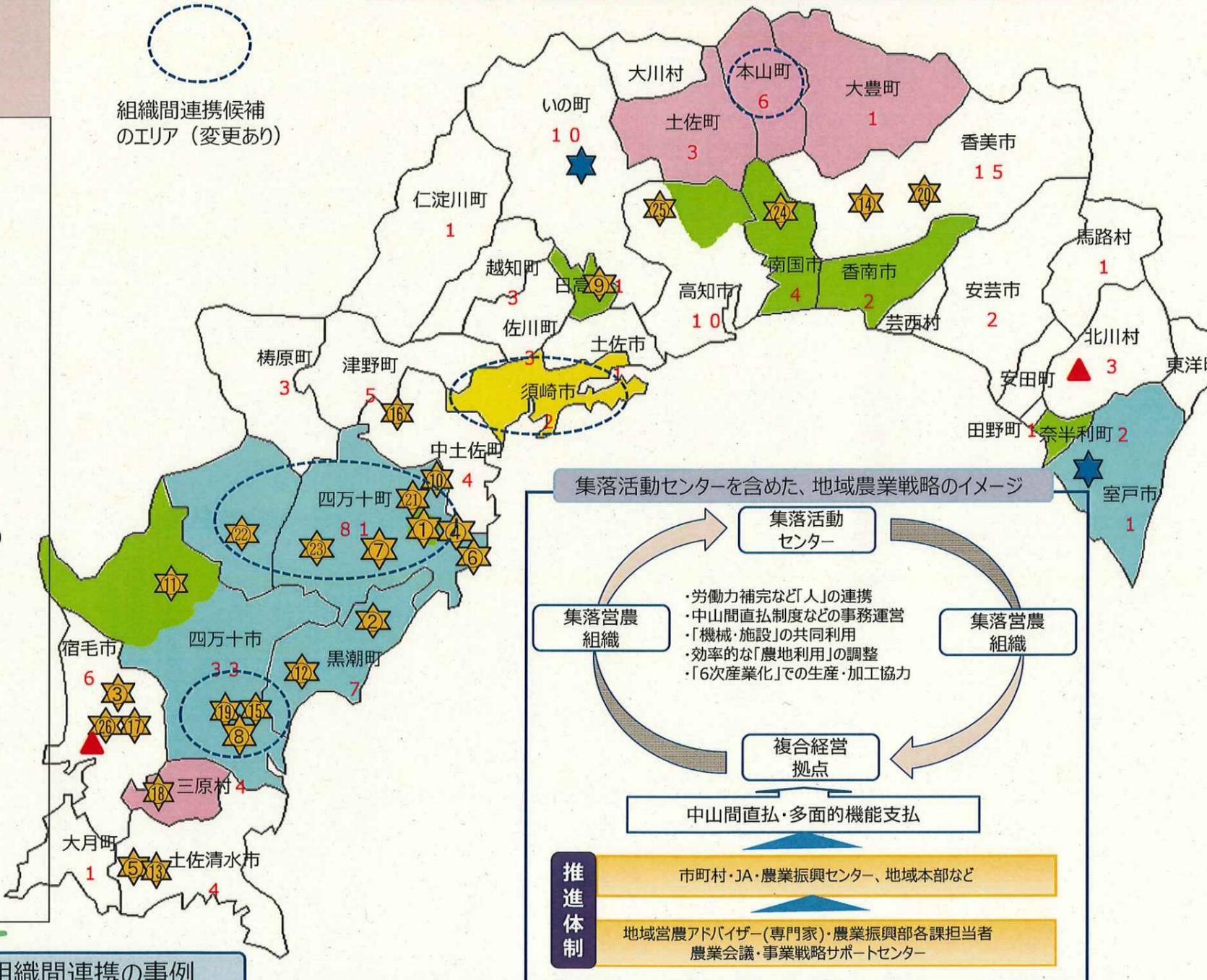
中山間農業複合経営拠点と集落営農法人の設置状況 (H30.12時点)

◆集落営農組織の状況 (H30.12末時点)

- ①集落営農組織数 220
- ②こうち型集落営農組織数 59
- ③法人数 26 ★
- ④H30年度法人設立予定 ☆

- ①四万十町 (株)サンビレッジ四万十 (H22.2.5)
- ②黒潮町 (農) 荷稲米・米クラブ (H24.2.23)
- ③宿毛市 (農) ファームなかつの (H25.1.31)
- ④四万十町 (農) ひらの (H25.12.2)
- ⑤土佐清水市 (農) ふぁー夢宗呂川 (H26.1.18)
- ⑥四万十町 (農) 志和 (H26.4.28)
- ⑦四万十町 (農) 藤ノ川ファーマーズ (H27.1.5)
- ⑧四万十市 (農) 入田村 (H27.2.10)
- ⑨日高村 (農) 沖名営農組合 (H27.1.27)
- ⑩四万十町 床鍋 (農) (H27.4.10)
- ⑪四万十市 (農) 四万十川営農組合 (H27.4.23)
- ⑫黒潮町 (農) 小川アグリ (H27.10.13)
- ⑬土佐清水市 (農) 三崎 (H27.12.4)
- ⑭香美市 片地ファミリーファーム (株) (H27.5.8)
- ⑮四万十市 (農) 田野川甲営農組合 (H28.1.27)
- ⑯中土佐町 (農) 大野見野の風 (H28.3.7)
- ⑰宿毛市 (農) 芳奈村 (H28.4.18)
- ⑱三原村 (農) 三原やまびこ (H28.12.1)
- ⑲四万十市 (農) わらびおか (H29.2.28)
- ⑳香美市 (農) ファーム西永野 (H29.4.5)
- ㉑四万十町 (一社) 四万十農産 (H29.4.27)
- ㉒四万十町 (株) 大和アグリ (H29.5.15)
- ㉓四万十町 (農) 神ノ川水源 (H30.1.22)
- ㉔南国市 (株) ながおか (H30.2.28)
- ㉕高知市 (農) 梅ノ木ファーム (H30.4.16)
- ㉖宿毛市 (農) 平田の百姓屋 (H30.12.4)

複合経営拠点・集落営農組織・集落活動センター等の組織間連携の仕組みづくり —地域農業戦略による好循環のシステム構築—

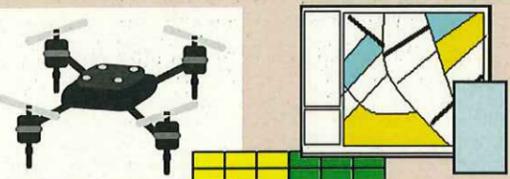


◆複合経営拠点の状況 (H30.12末時点)

- ①複合経営拠点数 17

H27	大豊町	(株)大豊ゆとりファーム	4
	本山町	(一財)本山町農業公社	
	土佐町	(株)れいほく未来	
	三原村	(公財)三原村農業公社	
H28	奈半利町	(一社)なはりの郷	7
	日高村	(株)JSMアグリサポート	
	四万十町 (仁井田)	(一社)四万十農産	
	四万十市 (西土佐)	(公財)四万十市西土佐農業公社	
	香南市	(公社)香南市農業公社	
	南国市	(株)南国スタイル	
	高知市 (土佐山)	(一財)夢産地とさやま開発公社	
H29	室戸市	協同キラメッセ室戸(有)	5
	四万十町 (窪川)	営農支援センター四万十(株)	
	四万十町 (十和・大正)	(一社)しまんと農楽里	
	黒潮町	(一社)黒潮町農業公社	
	四万十市	(公財)四万十市中村野菜価格安定基金協会	
H30	須崎市	(株)土佐くろしお村 村営みのり	1
H31 予定	北川村	北川村公社 (新設予定)	2
	宿毛市	宿毛市農業公社 (新設予定)	

組織間連携の事例



Iot・ICTなど新技術の導入・農地の利用調整と効率的な管理



高額・特殊機械・施設の共同利用



担い手の確保育成・労働力保管・ホペレーターの共有



6次産業化の推進



鳥獣害対策

1. 集落活動センターの推進

◆生産活動への支援

緊急間伐総合支援事業費補助金 76,000千円

森林の公益的機能を高めるとともに、森林資源の質的充実を計画的に推進するため、未整備のまま高齢林へと移行している人工林の間伐を緊急に行う。

原木増産推進事業費補助金(自伐林家等林業機械レンタル) 5,215千円

自伐林家等の小規模林業の実践者が行う林業機械のレンタル等に対する支援を行う。

地域林業総合支援事業費補助金 11,500千円

地域林業の振興を目的として、事業主体が自らの発想で提案する事業等に対する支援を行う。



林業試験研究費 1,261千円

食用きのこ栽培技術確立に関する研究、シキミ・サカキの栽培技術向上に関する研究等を行う。

コンテナ苗生産基盤施設等整備事業費補助金 5,019千円

コンテナ苗を供給するための生産施設、機械等の整備に対する支援を行う。

◆都市との交流支援

森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費補助金 13,878千円

里山林の保全管理や資源を利用する活動を支援する国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金による地域の取組に対する支援を行う。

3. 中山間の産業づくり

◆森林の集約化への支援

森林整備地域活動支援交付金 44,446千円

森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な森林経営計画の作成等の経費に対する支援を行う。

特用林産振興促進事業 8,910千円 **新規**

中山間地域の貴重な収入源である特用林産物の振興及び生産拡大を図るため、県内外の展示会等に出展しマッチングを促進する。また、特用林産物の利用推進を目的としてアドバイザーを招へいし、新たな品目の掘り起こしや既存品目の生産を支援する。

地域林業総合支援事業費補助金【再掲】 11,500千円

特用林産業新規就業者支援事業費補助金【再掲】 19,350千円

2. 中山間の未来を担う人材の育成・確保

◆林業労働力の確保・育成支援

林業労働力確保支援センター事業費補助金 29,303千円

林業労働力確保支援センターを中核とした林業労働力の確保、育成を図るための総合的な対策を実施する。

林業雇用管理改善推進アドバイザー業務委託料 8,795千円 **新規**

新規就業者の確保と定着率の向上を図るため、林業事業体への労働環境等の改善に向けた助言・指導を行うアドバイザーを林業労働力確保支援センターに配置する。

林業大学校運営事業費 64,998千円

林業、木材産業等への就業並びに森林及び林業等に関する知識及び技術の習得を希望する者に対し研修教育を行う林業大学校の運営を行う。

林業大学校研修事業費 203,595千円

林業大学校において、林業、木造建築等に関する知識や技術を習得するための研修を実施する。また、研修生が安心して研修に専念できるよう給付金を支給する。



◆小規模林業の推進

小規模林業総合支援事業費補助金 3,782千円

新たな小規模林業の実践者やNPOに対し、実践的な技術研修の開催等に要する経費を市町村が助成する場合、経費の一部を支援する。

小規模林業アドバイザー派遣等事業費補助金 6,124千円

現場指導ができる林業実践アドバイザーの派遣に要する経費の助成や小規模林業実践者の現場の安全点検パトロールの実施などにより、林業技術や安全意識の向上を図る。
※先進地現地研修支援事業、林地集約化技術習得支援事業などの支援を新設。

◆就業支援

特用林産業新規就業者支援事業費補助金 19,350千円

特用林産業に新規に携わる方に対し、生産技術を習得するための研修助成金を市町村が支給する場合、経費の一部を支援する。さらに、市町村が研修指導者に支給する謝金に対して支援する。

特用林産人材育成事業 1,309千円 **新規**

特用林産の振興を進めるため、栽培マニュアルを作成し、その活用を図ることにより、生産技術の向上や新規参入者の確保、人材育成などを支援する。

4. 鳥獣被害対策

◆シカ被害対策等への支援

森林資源再生支援事業費補助金 115,744千円

森林資源を再生させることにより、公益的機能を高めるとともに、質的充実を図っていくため、伐採跡地の再造林及び再造林と一体となって実施する附帯施設等整備(シカ被害防護ネット、防護カバー、電気柵)及び隔年下刈りに対する支援を行う。

集落活動センターにおける林業分野の展開(特用林産)

<特用林産の現状>

- ①担い手不足
- ②技術不足
- ③安価な輸入品との競合

<課題>

- 担い手確保
- 生産量低減
品質低下
- コスト削減
差別化

<課題解決方針>

- 後継者対策
人材育成
U・ターンへのPR
- 指導力向上
技術力向上
- ブランド化
販売戦略

<支援対策>

- 特用林産新規就業者支援事業
移住促進施策との連携etc
- 県職員研修
- 林業大学短期課程、県職員による指導
- 補助事業(産業振興推進総合支援事業etc)
産業振興アドバイザーetc



上本川まいたけモデル

【主な取組の経緯】

- 栽培技術習得に向けた試験栽培を開始(H27.2)
- 集落活動センター「氷室の里」開所(H28.3)、拠点施設落成(H28.10)
- きのこ大収穫祭(H27~29)、まいたけフェア開催(10店舗：H29.9~10)
- 原木まいたけ生産量H28：100kg、H29：250kg
- <H30年度>生産目標：495kg→実績：399kg
- きのこ栽培の拡大(まいたけ1650袋、はたけしめじ250袋他)
- いの町集落活動センター特産品合同販売会(H30.10.7：高知市)
- まいたけフェア開催(9店舗：H30.10.5~6)

【今後の方針】

- 生産、販売、流通体制の確立、PR強化。1,000万円/年の収入を目指す。

これまでの取組(H29年度)

特用林産推進チーム会

H28年度：5回、H29年度：3回

- 中山間地域対策本部に關係部局(林業振興・環境部、農業振興部、中山間振興・交通部)の連携によるチームを設置
- (目的) 集落活動センターの収益事業につながる特用林産の生産、販売事業の展開に向けて、関係情報の収集、提供等の支援

具体的な取組事例

- 鏡(高知市)：イタドリ栽培の推進(H29年度：23箇所 約2万本販売)
- 長者(仁淀川町) 集活センターだんだんの里：山菜、薬用植物の試験栽培
- 下切(三原村)：あらげきくらげ栽培開始

シキミ・サカキ部会

- 各林業事務所が主体となり、農業振興センター、JAで組織する部会を設置(H28)
- (目的) 現状調査、生産支援、技術支援、集落活動センターの参画の可能性を模索。モデル園を設定し、ロールモデルとして生産地の拡大・生産者の増加を目指す。

活動内容

- 現地及び生産者調査、モデル園設置に向けて生産者団体等との協議
- 各シキミ・サカキ部会において、取組に対する方向性の決定

H29年度

- (安芸) 馬路村魚梁瀬におけるシキミ・サカキの現況調査、研究機関と連携し、病気の解明、防除方法の検討
- (中央西) 個別指導実施
- (須崎) モデル園設置に向けたシキミ植栽地調査(中津川集活センターこだま)
- (幡多) 植栽の支援(成山シキミ組合)
- (森技センター) 経営モデル作成のため、生産者に作業日誌作成を依頼

◆きのこ栽培技術の普及

林業学校基礎課程、短期課程：「きのこ栽培」、「シキミ・サカキの栽培方法」

◆県職員の技術力向上

きのこの栽培研修(2日間)

H30年度の取組

特用林産推進チーム会

H30：3回の開催を予定(第1回 5.22 第2回 10.29 第3回2.19(予定))

- ◆新たな事例の掘り起こし → 事例の具体化 → 試行的な実施 → 本格実施
- ◆内容
 - 地域本部の参画のもと、集落活動センターと連携した取組を推進
 - 地域特性に応じた特用林産物の新たな活用方法や販売戦略を検討
 - 専門アドバイザー派遣等による支援の実施
 - 森技センター等による栽培技術・品質向上のための支援
- ⇒集落活動センターを核とした特用林産物の生産、加工事業等の取組展開

- ・鏡(高知市)：イタドリ栽培の横展開(奈半利町、土佐町、須崎市など)
- ・土佐町：自然分布ウラボシ(生薬原料)出荷開始(H30.11.6~)
- ・別枝(仁淀川町)：シイタケ、アラゲキクラゲ等の栽培本格開始
- ・下切(三原村)：アラゲキクラゲ、ナメコ、シイタケの生産拡大(H30.5~ アラゲキクラゲ生産量2.5t(12月末まで))

◆集落活動センター関連事業

- ・西峯(大豊町) 集活センター西峯：ごごみ試験栽培
- ・長者(仁淀川町) 集活センターだんだんの里：山菜、薬用植物の生産面積拡大

シキミ・サカキ部会

- ・モデル園の整備：集活センター(地域本部)と調整
- ・マッチング(収穫、荷造り作業等)：生産地(生産者)と集活センター連携
- ・補助事業活用推進：生産・加工施設に対する支援
- 「各林業事務所における活動」
 - ・(安芸) 支援が必要な生産者を調査中
 - ・(嶺北) 大豊町小川地区におけるサカキ栽培を推進、生産者の組織化が進行中
 - ・(中央西) 部会開催(9.28)、サカキ栽培モデル園設置、整備講習会(11.26)
- ◆森林技術センターにおける活動
 - ・サカキ栽培マニュアル、シキミの経営モデルの作成、シキミ・サカキの優良系統の選抜方法の研究

◆集落活動センター関連事業

- ・(安芸) 集活センターげいせい：シキミ圃場の集約等により収穫・販売を推進
- ・(高幡) 中津川集活センターこだま：シキミ植栽、苗育成、市場視察(2.4予定)
- ・(幡多) 集活センター北郷において、シキミ栽培を検討

人材育成

- ◆特用林産物栽培技術の普及(生産者)
 - 小規模林業推進協議会を活用した副業型特用林産の普及
 - 林業大学基礎課程、短期課程における研修の充実
- ◆特用林産物に関する専門知識を持った職員の育成(県職員)
 - 特用林産研修の充実(H29：2回→H30：6回/年)
 - 林野庁特用林産研修参加(1名)、きのこアドバイザー資格取得(1名)
 - 専任職員配置による研究機関と普及指導職員の連携強化

H31年度の取組

【今後の方向性】

- ①副業型特用林産物の振興→地域産業化
- ②技術力向上
- ③特用林産物の普及及び販売促進
- ④新規特用林産物の開発

これまでの取組に加えて…



【H31の取組】

- ◆技術者・指導者の人材育成(今後の方向性①、②)(特用林産人材育成事業)
 - ・主要な品目(きのこ、山菜類等)について、栽培マニュアルを作成し、生産技術の向上や新規参入者の確保・育成などを支援



◆特用林産物の振興促進(今後の方向性③、④)(特用林産振興促進事業)

- ・本県の主要な特用林産物を紹介するリーフレットを作成し、県内外の展示会等において、出展、紹介、配布することで、生産者と流通事業者等のマッチングを支援
- ・きのこ、山菜、花き類などの専門家をアドバイザーとして招へいし、県で生産可能な新たな品目の掘り起こしと既存品目の生産を支援

新たな生産拠点(目標：5箇所程度)づくりに向けて強力でサポート

目指すべき姿

【H28】

特用林産物
28.1億円

特用林産物
28.1億円



【H34】

特用林産物
34億円



集落活動センターにおける林業分野の展開(コンテナ苗)

これまでの取組

- 【H26】
- ・新聞記事をきっかけにコンテナ苗生産の検討を開始
 - ・コンテナ苗生産勉強会、現地検討会の実施(県立森林技術センター(以下「技術センター」)等)
 - ・林業種苗生産者講習を受講し、生産者登録を行う
 - ・西峯地区活性化推進委員会産業部会においてコンテナ苗試験生産開始を決定
- 【H27】
- ・コンテナ苗(スギ)2千本の試験栽培を開始、技術センター等が技術指導等を実施(9回)
 - ・販路確保のため高知県種苗緑化協同組合(以下「県苗組」)に加入
- 【H28】
- ・技術センターが本格生産に向けた技術指導等を実施(5回)
 - ・大豊町からの支援を受け、コンテナ苗**2万本の生産体制を整備**
 - ・次年度の出荷に向けた育苗コンテナへ幼苗の移植(一部生育不良による追加播種)
 - ・1,050本の規格適合苗を県苗組が確認
- 【H29】
- ・生産施設拡充(コンテナ、棚、培土、5月完成)
 - ・生産苗の植栽(大豊町内、2,500本/1.25ha(8/28~31))
 - ・施設内苗約19,000本が枯死(9/25確認、技術センター再発防止指導実施)
 - ・生産苗の植栽(大豊町内、9,800本/4.90ha(H29.11))
 - ・H31春植えに向けての播種(H30.2,コンテナ1,000枚分)

西峯

H30年度取組

- ・新たに施設(ハウス)を1棟増設し、**4万本体制**に規模拡大(5月)
- ・コンテナへの移植作業(3万本、5/6~8)
- ・生産技術継続指導(技術センター)
- ・追加播種(8/6)
- ・コンテナへ移植(1万本、9/26~27)
- ・得苗調査による得苗率の確認
- ・2~3月に3万本出荷予定



課題

- さらなる育苗技術の向上
※出荷時期に対応した促成・抑制技術
- 安定供給体制の確立
- 販売先の確保
- 再造林の推進

コンテナ苗での再造林

地帯え



運搬



植栽



H31年度取組

- 安定供給体制の確立
- ・さらなる生産技術の向上
(育成技術、病害対策、作業の効率化)
- ・得苗率の向上
(先行生産者等との継続的な技術的勉強会の開催)

- 販売先の確保・拡大
- ・県苗組や森林組合との連携
- ・再造林の推進
(一貫作業システムや低密度植栽など低コスト造林の推進)



○高知市鏡地区梅ノ木ファームのコンテナ苗生産の試行
【主な取組内容】

- 【H29】
- (1)コンテナ苗勉強会の開催
 - (2)苗木需給のリサーチ等(訪問先:県苗組他)
 - (3)県苗組との協議
 - (4)先進地視察(香美市生産者・西峯育苗作業)
 - (5)試験栽培地の選定
 - (6)生産資材の調達
 - (7)種苗生産者講習受講
 - (8)コンテナ苗生産の試行2,000本(種蒔き、移植、消毒など)
 - (9)生産技術出前指導(森林技術センターH29:6回)
 - (10)植栽地の選定(高知市有林内)

(1)勉強会



(4)視察



(5)試験地の選定



(7)種苗生産者講習



(8)消毒作業



(9)生産技術出前指導



梅ノ木

○高知市鏡地区梅ノ木ファームのコンテナ苗生産の継続

- 【主な取組内容】
- (1)2,000本の育苗の継続
 - (2)県種苗組合による作付け調査
2,000本 → 1,500本
 - (3)植栽地の確定→高知市有林約1ha
 - (4)生産事業者登録(林業種苗法,6/5)
 - (5)生産状況(得苗)調査(9/17)
1,500本 → 1,000本
 - (6)出荷(H30.10.22)
 - (7)本格生産への検討(需要の確保、生産スペースの確保など) → 県、県苗組、高知市、森林組合など関係団体と検討

生育中のコンテナ苗



出荷のイメージ



植栽地のイメージ



- 生産技術の向上
- ・病害対策
(赤枯れ病)



育成技術の向上
(得苗率の向上)

- 販売先の確保

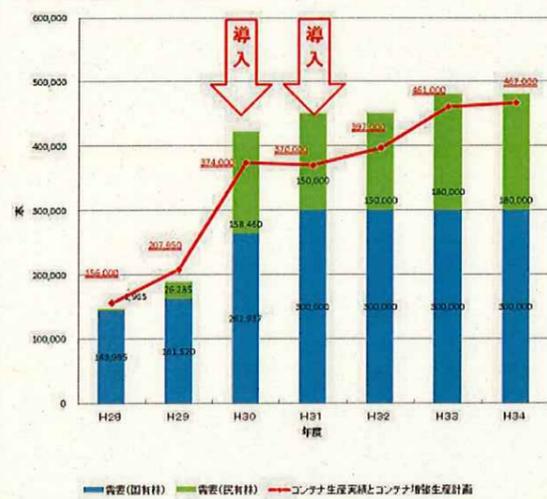


- 安定供給体制の確立
- ・生産技術の向上
(育成技術、病害対策、作業の効率化)
- ・得苗率の向上
(先行生産者等との継続的な技術的勉強会の開催)

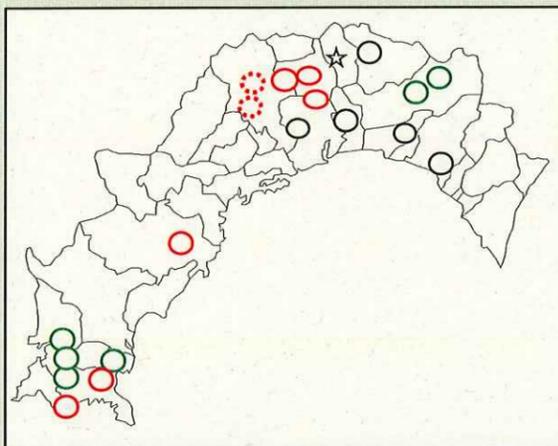


■コンテナ苗木需要への対応について

コンテナ苗需要と生産能力



■生産者の現状(H29年度生産調査による)



黒・・・コンテナのみ(梅ノ木含む、☆企業型) 6名 赤・・・普通のみ6名
 緑・・・コンテナ+普通 6名 赤点線・・・新たな生産登録者2名

【現状】

苗木供給量はH29:94万本→H30:77万本
 うちコンテナ苗の生産量H29:28万本→H30:37万本、シェアはH29:30%→H30:48%。普通苗生産者の生産量の減退(前年度残苗による生産抑制、悪天候による得苗率の低下等による)H29:66万本→40万本

【今後】

- コンテナ苗需要の高まり
 - ・民有林での低コスト造林の推進
 - ・国有林での需要増
 - ・普通苗の保管の加速化
- コンテナ苗需要の高まりに応じて生産能力を増強
 - 28万本(H29)から46万本(H32)へ

【取組】

- 種苗生産体制整備
 - ・H30年度コンテナ4千枚導入
 - ・H31年度コンテナ4千枚の導入を計画
 - ・需要動向によりH32以降のコンテナの追加導入を判断
 - 苗木生産技術の向上
 - ・生産効率向上(歩留向上)
 - ・低コスト化に向けた研究
 - 需要拡大
 - ・低コスト化による再造林の推進
 - 一貫作業システム実施地
- H30:4箇所(実施中(実施準備中1箇所含む))

■苗木生産の低コスト化に向けた研究

(独)森林総合研究所が事務局となって、民間企業、九州大学、高知県立森林技術センター他が連携し、低コスト造林システムの構築に向けた研究・開発を行うコンソーシアムを平成28年4月に設立。

【これまでの主な取組内容】

- ・苗木生産の低コスト化に関する研究(H28.4~H31.3)(コンテナ苗生産試験、先進地視察など)
- ・種子選別機の開発
- 【平成31年度の取組内容】
- ・苗木生産の低コスト化に関する研究

開発された種子選別機



■再造林の低コスト化への取組

【高知県】

- ・コンテナ苗普及のための関係者(四国森林管理局、森林総合研究所、森林組合、森林所有者等)を交えた現地研修会の開催
- ・伐採から植栽までの一貫作業システムによる再造林の推進
- ・一貫作業勉強会(10/24土佐町(国有林))
- ・コンテナ苗生産の出前講座の開催
- ・成長の早い苗木を用いた再造林低コスト化に関する研究

■種苗生産体制の整備

【県苗組】

- ・森林組合等へのコンテナ苗のPR
- 【種子の確保】
- ・既存採種園の管理
- ・種子の採取
- ・特定母樹ミニチュア採種園の整備
- 【苗木供給調整】
- ・高知県林業用種苗供給調整協議会の開催
- 【人づくり】
- ・種苗生産者講習、生産技術指導
- 【コンテナ苗生産施設整備】
- ・コンテナ容器等支援 H30:4,000枚導入
- H31:4,000枚導入計画
- (H30生産者9名、約20万本増目標)

ミニチュア採種園の整備



生産技術講習



コンテナ苗生産体制整備

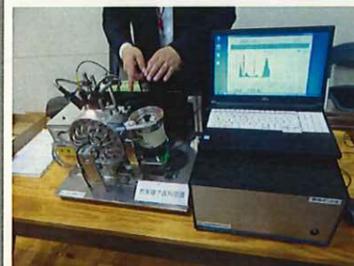


【参考】高発芽率種子の選別機の開発と選別種子による育苗試験(コンソーシアム)



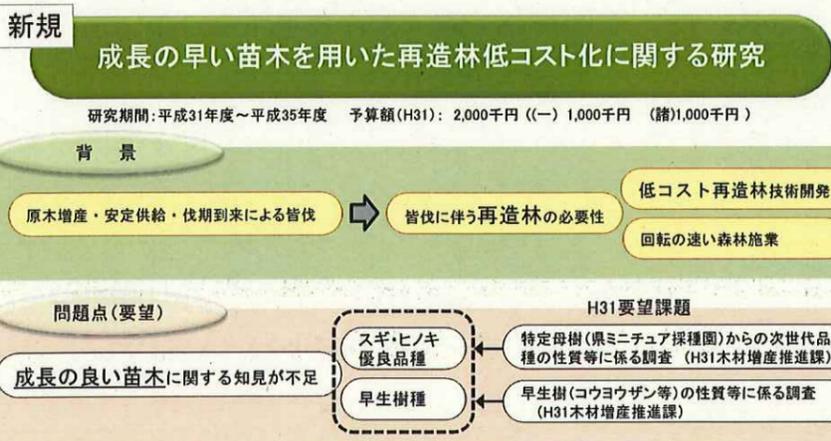
選別種子を用いた育苗実証試験(高知県)

高知県立森林技術センター & 山林用コンテナ種苗研究会(高知県産種苗化協議会)



成長の早い苗木を用いた再造林の低コスト化への研究(県立森林技術センター)

1-1



1-2



集落活動センターにおける林業分野の展開(集落営林)

＜事業地確保の新たな仕組みづくりの検討＞

これまでの取組

◎地域における個別事例を支援

- ◆土佐町 「集落活動センターいしはらの里」を中心に人材育成事業を展開。
 - ・林業学校との連携や農林業インターンシップの受け入れ等も含めた研修内容の拡充
 - ・林業インターンシップの開催
- ◆本山町 町が地域おこし協力隊OBで構成する団体の活動を支援。
 - ・副業型林家育成のための実践研修の開催 H30:研修1回実施、1回(1月予定)
 - (会場に集落活動センター汗見川の施設「清流館」を活用)
 - ・事業地確保のための林地の集約化 H30:木能津地区10ha実施中
- ◆佐川町 町が主体となって副業型林家育成や事業地確保、地域おこし協力隊の林業での定住。
 - ・副業型林家育成のための実践研修の開催 H30:研修6回実施、6回(1、2月予定)
 - ・事業地確保のための林地の集約化 H30:尾川地区②、加茂地区に着手
 - ・協力隊2名が任期終了後も定住し、自伐型林業を実践
- ◆宿毛市 市が主体となって副業型林家を育成し、小規模林業実践者を拡大。
 - ・副業型林家育成のための実践研修の開催 H30:講演会1回、研修6回実施
 - ・H30～地域おこし協力隊(自伐型林業) H30:2名活動中
- ◆いの町 町が小規模林業者で組織する団体の林地集約化の活動を支援 (H28)
- ◆仁淀川町 町独自の人材育成の研修制度。町が主体となって体験するツアーを実施 (H29) H30:1回(2月予定)

＜活動イメージ図＞



◎小規模林業の推進

- ◆小規模林業推進協議会
 - ・H27年1月設立(会員間の情報交換)、会員 468人(H30年3月末) → 499人(12月末)
 - ・協議会の開催 年3回(労働安全衛生講習、現地検討会、活動事例発表会など) H30:2回124人(7月、11月)、第3回(3月予定)
 - ・広報活動 活動事例等取材し、ホームページの記事を充実させるなど情報発信

モデルを横展開するための準備
小規模林業推進協議会 現地検討会(11/16)
佐川町地域おこし協力隊OBの施業現場を紹介

◆政策パッケージによる活動への支援(H27～)

新しい流れ

◎新たな森林管理システムによる林業経営の効率化及び森林管理の適正化の一体的な促進

- ◆森林所有者の意向調査や申し出により、市町村が、経営・管理。
 - ・林業経営に適した森林 → 意欲と能力のある林業経営者へ経営を再委託
 - ・林業経営に適さない森林 → 市町村による森林整備(※小規模林業者が担い手として期待される)

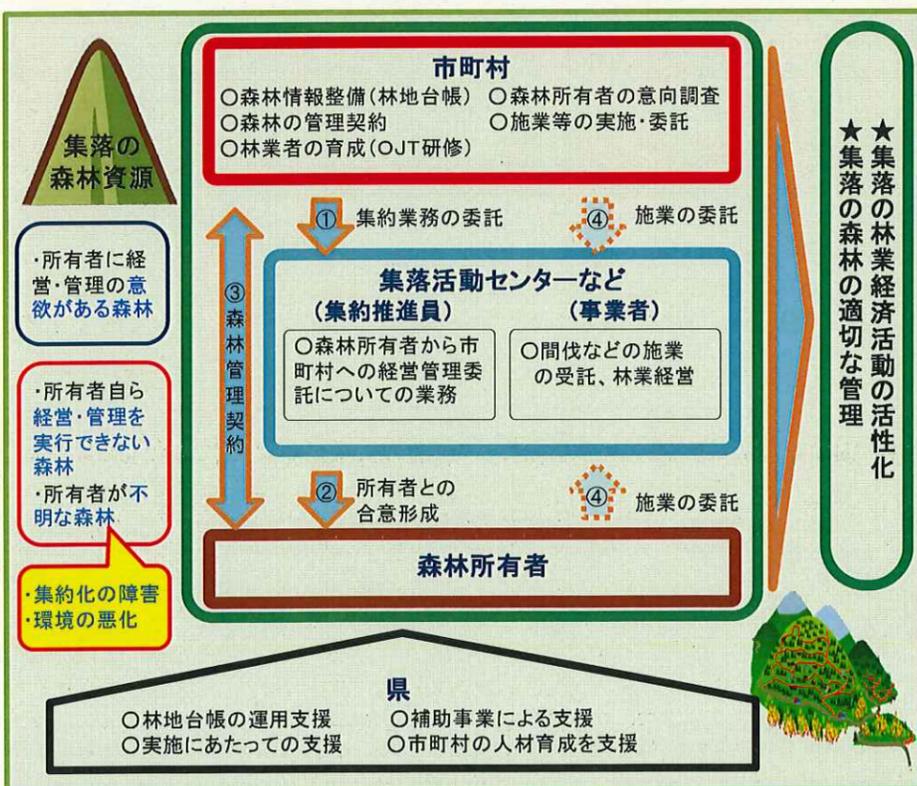
取り組むべき課題

- ・森林所有者との合意形成
- ・森林情報の整備
- ・施業地の境界の明確化
- ・人材の育成 など

- ◆集落活動センター等が、市町村の行う施業地の集約化や森林整備(間伐等)を受託
 - ・集落ぐるみで施業地の集約化に取り組むことにより、林業経営に無関心な森林所有者の参加を得られやすい
 - ・新たな森林管理システムの開始に伴い拡大する森林整備に対応するための多様な担い手の確保につながる

- ◆集落活動センターの安定的な経済活動の展開
- ◆集落の森林の適切な管理

展開のイメージ



今後の取組

項目	H31	H32	H33
林地の集約化	モデル集落の取組と仕組みづくり	→	
	モデルを横展開するための準備(小規模林業推進協議会での情報提供)	→	
	モデルの普及	→	→
人材育成	資格取得への支援(林業大学校短期課程)	→	→
	技術習得への支援(副業型林家育成研修等)	→	→
	安全対策への支援(装備導入、研修等)	→	→
新たな森林管理システムとの連動	新制度スタート	→	→
	(市町村等への支援体制の強化)	→	→

H31年度の取組

(モデル集落での取組)

①対象エリア選定	着手時期	H27年度(H28)	H29年度	H30年度	H31年度
地区		斗賀野	尾川①	尾川②	加茂
面積		約150ha	約318ha	約333ha	約53ha
②登記名義人調査		面積	約150ha	約318ha	約333ha
		人数			着手
③アンケート実施	実施時期	平成27年、28年	平成29年8月	平成30年12月	平成30年8月
	送付人数	216人	420人	350人	60人
	回答人数	153人	249人		29人
	うち、町営林業者人数	109人	168人		15人
	面積				
	集約推進員の任命		6人	←同26人	検討中
④確認書締結	時期	H30.12.26現在	H30.12.26現在		
	面積	15.4ha	2ha		
	件数	32件	3件		
⑤管理契約締結	時期	H30.12.26現在	H30.12.26現在		
	面積	89.1ha	108.1ha		
	件数	73件	66件		
⑥山林管理の施業委託	時期	H30年1月5日	H30年5月28日		
	面積	8.4ha	23ha		
	委託先	協力隊OB(協力隊任期満了後、斗賀野地区に定住し、林業就業)	任意団体(林業アドバイザー1名と集約推進員9人で組織)		
その他		H30.6.10施業開始	H30.5.28施業開始		

(新たな森林管理システムとの連動)

- 森林管理システムの支援チームを設置(本課と林業事務所)
 - ＜市町村や集落活動センター等を支援＞
 - 市町村が行う意向調査を集落活動センター等が実施する場合の支援
 - 将来的に市町村からの森林整備(間伐)の受託も視野に入れ、研修等への参加を呼びかけ
 - 林業を活動のひとつに加えた集落活動センターの運営につなげていきたい

海洋資源を生かした漁村におけるサービス業の振興（H30）

～自然・体験型観光キャンペーンを見据えた遊漁船業等の旅行商品化～

H31.1.25水産振興部

平成30年度の取り組み状況等

平成31年度の取り組みの方向性

旅行商品化・磨き上げ

○県内5地域の旅行商品化

☆旅行商品開発支援事業委託料 委託先:JTB高知支店 5/31契約

ステップ1 地域コンテンツの絞り込みによる旅行商品プランの作成

(県内5地域で5件作成)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ①東洋町～室戸市 | 室戸岬クルーズ |
| ②土佐市宇佐～須崎市浦ノ内 | 釣り筏・カニ網+昼食 |
| ③黒潮町鈴～入野 | 夜光虫見学ツアー |
| ④土佐清水市足摺～竜串 | 足摺岬釣りブリ漁見学 |
| ⑤大月町 | 観光イカ釣り+食事・サンセットクルージング |



ステップ2 旅行エージェント等を対象としたモニターツアーを実施

②③⑤についてモニターツアーを実施(9/7～8)

①④は1～2月実施予定

【モニターツアーでの主な意見】

安全管理、他地域との差別化、事業者間のサービスの統一など

ステップ3 モニターツアーの結果等を踏まえ、磨き上げを図る

ステップ4 旅行エージェント等向けの提案書を作成、プレゼンテーションを実施

- ・提案書は個別コンテンツ及びモデルコースを作成
- ・旅行エージェントから聴取した意見を検証し、各コンテンツを磨き上げ(プレゼン予定)高知県観光説明会への参加 大阪1/24、東京1/30 近県の団体向け旅行会社等へ提案(1～2月) 等

魅力ある商品へ磨き上げ

○受け入れ体制の充実

☆遊漁船業等アドバイザー事業委託料

委託先:南国生活技術研究所 黒笹氏

- ・8/29須崎市(養殖筏カセ釣りの可能性)
- ・9/17中土佐町漁業体験施設「わかしや」(集客の増加)
- ・10/30宿毛市沖ノ島(観光振興)
- ・12/8:土佐清水市(釣りブリ遊漁の事業化)等をアドバイス

☆遊漁船業者等振興事業費補助金

- ・ダイビングのPR活動を支援(宿毛湾ダイビング大月部会)
- ・集客増に向けた安全面での釣筏改修を支援(浦ノ内湾釣筏渡船振興会)
- ・黒潮町鈴の釣筏増設を支援(高知県漁協)

☆滞在型・体験型観光推進施設整備事業費補助金

- ・浦ノ内湾の釣筏の新設を支援(事業主体:高知県漁協)

☆アサリ資源回復対策事業費(浦ノ内湾天皇帝)

- ・大規模被せ網のメンテナンスと設置拡大(H30末目標3ha、H29末実績2ha、H30.12末新設約7,000㎡)
- ・アサリ学習会、潮干狩り体験の開催(9/7:宇佐小学校5年31名)
- ・一般客を対象とした潮干狩りの実施に向けた協議

情報発信の強化

○遊漁船業者等の情報収集

☆遊漁船業者等実態調査委託料

- ・遊漁船業者等100者を対象にWEBやSNSによる情報発信の実態やサービス内容を調査
- ・24者が自然・体験型観光キャンペーンに参加の意向

情報発信を強化していくための基礎データを収集

○遊漁に関するホームページの作成

☆インターネットホームページ作成等委託料

- ・県内の遊漁船業者等を紹介するホームページを作成
- ・遊漁船業者や河川での遊漁に関する情報を掲載(2月末公開予定)

家族連れや初心者といったライト層、コアな釣り客等の幅広い客層に向けた情報発信を強化し、利用者の増加を図る

売り込み

○観光振興部と連携した販売促進

- ・多様な販売先への情報発信
- ⇒自然・体験型観光キャンペーンと連携した情報発信
- ⇒旅行エージェントへのセールス 高知県観光説明会や近県旅行会社等

利用者等の意見を収集し、旅行商品としての質の維持、向上を図る

【旅行商品化・磨き上げ】

○5つの旅行商品(既着分)の磨き上げ・売り込み

○新たな5つの旅行商品化・売り込み

<調整中(今後状況により対象を変更)>

①安芸のシラスツアー・ちよい釣り体験(安芸市)

②たたき体験や伝統漁業の体験メニュー化(高知市)

③上ノ加江の漁業体験(中土佐町)

④大敷網観光(室戸市)

⑤養殖クロマグロツアー(大月町)

新【インバウンド観光への対応】

- コンテンツの絞り込みと受入体制の整備 ホールウォッチング、マダイ釣り、筏釣りでモニターツアー(在日留学生、旅行代理店)を実施
- 先進事例調査

【天皇洲でのアサリ潮干狩りの復活】

- 潮干狩りの予約制による受入の仕組みづくり
- 潮干狩りの試験実施(春季に4回程度予定)(地元と協議中)
- 被せ網による漁場の適正な管理

【新規就業者の育成・確保】

- 新たに遊漁船業を営む者をソフト・ハード面から支援
- 漁業兼業を視野に漁業就業支援センターとの連携強化

自然 & 体験キャンペーン展開の施策群

自然・体験型の観光資源を磨き上げ、付加価値を高めるとともに、外商につなげ、持続可能な観光振興を図る

戦略 【観光商品をつくる】

インバウンドにも対応できる魅力ある商品の磨き上げ

事業戦略や基本構想の作成
4定条件の確保に向けた環境整備
民間活力の導入

①～④ 共通
 自然・体験アドバイザーの活用

1 事業プランづくり

事業戦略や基本構想の作成

観光拠点等整備事業費補助金の活用 (15件)
 拡 土佐の観光創生塾 (7件)

2 体験プログラムの磨き上げ

4定条件を確保する磨き上げ

観光拠点等整備事業費補助金の活用 (15件)
 拡 土佐の観光創生塾 (64件)
 NEW ガイド・インストラクター養成の事業化

3 体験・滞在型観光施設の整備

付加価値を向上させる観光施設の整備

民間の活力を生かした磨き上げ・整備

観光拠点等整備事業費補助金の活用 (19件)
 拡 観光拠点等需要調査事業(民活)の活用

4 自然景観・ビュースポットの整備

付加価値を向上させる観光クラスターの形成

観光拠点等整備事業費補助金の活用 (3件)
 各地域の周遊ルートと広域単位の周遊ルートを形成

※()書はH30年度の予定数

戦略 【売る】

国内外に向けた情報発信と販売

団体客と個人客の誘客拡大
 民間事業者と連携したセールス
 特設ウェブサイトやSNSによる情報発信

①～③ 共通
 自然・体験アドバイザーの活用

1 情報発信ツールの整備と活用

事業者自らHPやSNSを活用し、国内外に発信

拡 土佐の観光創生塾 (64件)
 特設ウェブサイトでの旅行商品の検索と予約販売

民間事業者等と連携した情報発信

特設ウェブサイトや国内外の企業等と連携したSNSの活用
 ・SNS (日本語)
 (ツイッター・インスタグラム 各10～20回/月)
 ・SNS (フェイスブック【英・繁】・インスタグラム 15回/月程度)

2 個人客の誘客拡大

事業者自らOTAの登録を行い、Webでの商品販売を拡大

拡 土佐の観光創生塾 (64件)
 特設ウェブサイトでの旅行商品の検索と予約販売
 特設ウェブサイトや国内外の企業等と連携したSNSの活用
 ・SNS (フェイスブック【英・繁】・インスタグラム 15回/月程度)
 海外OTAとFIT専用エージェントとの連携

3 旅行エージェントへのセールス

観光商品説明会や個別セールスなど様々な機会を通じた売り込み

広域観光組織による近県へのセールス
 コンベンション協会による全国セールス (東京・大阪・名古屋・福岡・中国地方等)
 海外セールス拠点の配置とFIT向けの商品造成に向けたモニターツアーの実施
 ※海外セールス拠点 8市場

戦略 【もてなす】

スムーズな予約受付と満足度の向上、サービスの改善

周遊を促す観光案内機能の充実
 サービス水準の向上

1 サービス水準の確保

周遊を促し経済効果を高める周辺情報の提供 (棚を活用)

インストラクターやガイドのスキル向上と受入体制整備

観光拠点等整備事業費補助金の活用

NEW 自然・体験型観光アドバイザー (体験磨き上げ)の活用
 拡 土佐の観光創生塾 (事業者間連携)
 NEW ガイド・インストラクター養成の事業化

2 サービスに対する評価

OTAサイトの感想・評価やアンケート調査の意見や提案などで現状を把握

拡 土佐の観光創生塾 (OTA販売55件)
 NEW 顧客の評価を定期的に収集し、フィードバックを行う機会の創出

3 旅行者に対する事前の情報提供

特設ウェブサイトでの旅行商品の検索と予約販売

顧客が必要とする情報の事前提供
 <OTAの登録要件>

・催行人数、内容等の予約情報
 ・実施/中止の判断基準や安全対策、保険など
 NEW 安全業務マニュアルのサンプルを事業者を提供

NEW 【観光案内所の機能充実】

総合案内所 (3ヶ所)、広域ブロックの拠点案内所 (10ヶ所)、地域の案内所 (40ヶ所) が観光情報、周辺情報の提供など観光客の多様なニーズにきめ細かく対応
 ・観光地、観光施設、体験プログラム、公共交通、宿泊施設等の情報提供
 ・決済環境、無料Wi-Fi、多言語対応などの整備

NEW 観光案内所機能強化事業費補助金の活用
 NEW 観光案内アドバイザーの活用

自然 & 体験キャンペーン
 特設ウェブサイトの仕組み

観光客

閲覧、予約、感想

2月1日
 開設



県内の情報を集約

詳細画面から予約サイトへ

データ連携

オンライン旅行会社

じゃらん

アソビュー

アクティビティ ジャパン

...

スムーズな予約の実現

手入力

その他

観光協会など
 市町村

フィードバックによる改善・バージョンアップ

自然&体験キャンペーンの展開と新たなラインアップ^o (2019年上期)

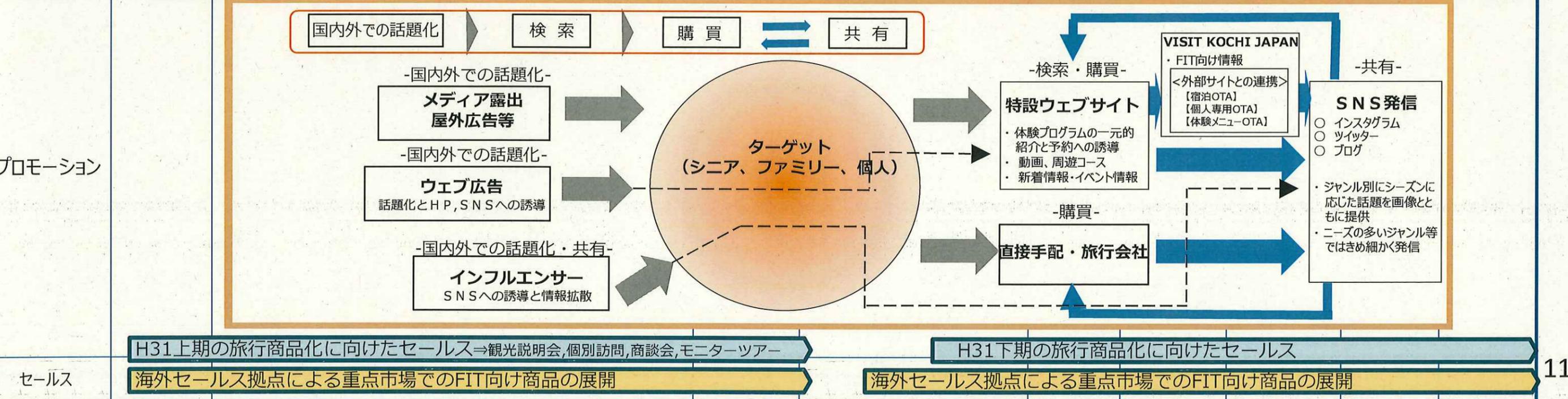
・緑：自然景観
 ・赤：体験・滞在型観光施設
 ・青：体験プログラム
 ・灰：イベント

柱1、2

2019年		リョーマの休日 ~自然&体験キャンペーン~											
幕末維新博		<自然・体験+歴史+食>											
歴史+食													
予定	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				
主なコンテンツ	東部	●伊尾木洞の観光案内施設OPEN (ガイド駐在・安芸市) ●ゆずFes (2/9~3/10 中芸地区) ※体験型博覧会 ●東部エリアイベント (2/10 室戸世界ジオパークセンター)		●内原野陶芸館の陶芸体験バージョンアップ (焼き上がり期間大幅短縮・安芸市) ●魚梁瀬森林公園オートキャンプ場リニューアルOPEN (馬路村)		●大型海上アスレチックスタート (東洋町) ●Muroto Base 55 (旧ライダーズイン室戸) OPEN							
	中部	●スタートイベント (2/1~3 こうち旅広場) ●牧野植物園の新たな園地のリニューアル(2/1) ●龍河洞イベント「光と雪の物語」(2/1~2/24) ●高知龍馬マラソン (2/17)		●ヤ・シイパークでのグランピング(宿泊) イベント (香南市) ●ヤ・シイパークでのアクティビティのバージョンアップ (SUP・香南市) ●スノーピークかわの駅おちOPEN (宮の前) ※日ノ瀬エリアオープン済 ●仁淀川カヌー開き (いの町) ●さめうら湖の環境整備 (カヌー用浮棧橋整備・土佐町) ●さめうら湖での新たなアクティビティ導入 (釣り専用ボートなど・大川村) ●ゆとりすとパークおとよのコテージ等のグレードアップ (大豊町)		●土佐れいほく博(7/7) スタート ●アウトドアヴィレッジもとやま OPEN(本山町)		●嶺北エリアイベント (3/24 早明浦ダム直下ふれあい公園) ●龍河洞リニューアル・プレOPEN ⇒ ●グランドオープン (香美市) ●高知仁淀ブルーライド (5/26)		●アウトドアヴィレッジもとやま OPEN(本山町)			
	西部	●釣り遊BINGO (11/23~2/24・大月町、宿毛市、土佐清水市) ●西部エリアイベント (2/23 柏島観光情報発信センターほか) ●柏島観光情報発信センターOPEN (2/23 情報発信・物販・大月町)		●爪白キャンプ場リニューアルOPEN (土佐清水市) ●大月エコロジーキャンプ場での新たな体験アクティビティ導入(クリアカヤック等) ●マリンアクティビティのバージョンアップ (カヌー・SUP・宿毛市)		●瓜白キャンプ場リニューアルOPEN (土佐清水市) ●大月エコロジーキャンプ場での新たな体験アクティビティ導入(クリアカヤック等)		●マリンアクティビティのバージョンアップ (カヌー・SUP・宿毛市)		●四万十・足摺チャレンジライド (3/9・10 幡多エリア・四万十町) ●セラピーロードのリニューアル (梶原町) ②四万十リバーフェスタ (四万十町) ●ダイビングの受入拡大 (四万十町) アクティビティのバージョンアップ(ラフティング・カヌー)		●グランドオープン (香美市)	
	磨き上げ	■ 2018年度の土佐の観光創生塾の塾生による四季に応じた旅行商品(鍛冶屋体験など)が順次販売される (旅行商品造成予定数：64件 (うちOTA登録予定55件))											

自然&体験キャンペーン スタート

2/1のラインアップは別紙

磨き上げてきた2月1日の主なラインアップ(体験・滞在型観光施設、体験プログラム)

体験・滞在型観光施設

体験プログラム

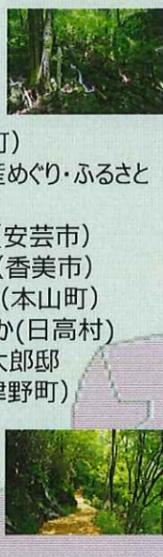
山

- 龍河洞★冒険コース(香美市)
- ゆとりすとパークおおとよ(大豊町)
- 西島園芸団地★果物狩り(南国市)
- 県立牧野植物園(高知市)
- 横倉山自然の森博物館(越知町)
- 佐川地質館(佐川町)
- のいち動物公園(香南市)



【自然ガイド、フットパス等】

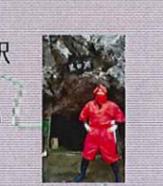
- ★樹齢千年の天然杉のある森を歩くガイドツアー・郷土の森を歩く会(室戸市)
- ★四万十源流点散策(津野町)
- ★魚梁瀬森林鉄道100年遺産めぐり・ふるさとセンター(馬路村)
- ★伊尾木洞ガイド・観光協会(安芸市)
- ★塩の道ウォーキング・観光協会(香美市)
- ★もとやまフットパス・観光協会(本山町)
- ★めだか池フットパス・村の駅ひだか(日高村)
- ★よしの散策ガイドツアー・虎太郎邸(津野町)



- ★天狗高原セレクト・ルート散策・天狗荘(津野町)
- ★森林セラピー・ガイド付きウォーキング・集活センター「まつぼら」(梶原町)

【ケイビング等】

- ★猿田洞ケイビング体験・村の駅ひだか(日高村)
- ★稲葉洞冒険ガイドツアー・せいらの里(津野町)



【民宿体験】

- ★農家民宿体験・幡多広域観光協議会(三原村)



【凡例】

- ・・・体験・滞在型観光施設
 - ★・・・体験プログラム
 - ・・・東部エリア(安芸)
 - ・・・中部エリア(物部川、高知市、嶺北、仁淀川)
 - ・・・西部エリア(高幡、幡多)
- ※事業者名は、問い合わせ先を記載 ※アンダーラインは、集落活動センター実施分

【出典】

自然&体験キャンペーン公式ガイドブック、龍馬バスポートⅢ紹介冊子、集落活動センター紹介冊子「土佐巡里」、よさこいネット「高知県キャンプ場情報サイト」などに掲載している主な施設、体験プログラムで、キャンペーンスタート時点で受入を行っているものを掲載 ※公式ガイドブックについては、掲載予定の内容

※注 体験プログラムは、荒天などの気象やその他の条件により催行できない場合があります。

川

- 安田川アユおどる清流キャンプ場★キャンプ(安田町)
- スノーピークおち仁淀川キャンプ・フィールド★キャンプ(越知町)
- オートキャンプ場ウェル花夢★キャンプ(四万十町)
- ふるさと交流センター★キャンプ(四万十町)
- リバーパーク轟★キャンプ(四万十町)
- かわらっこ★キャンプ(四万十市)
- 四万十ひろばキャンプ場★キャンプ(四万十市)
- 四万十学遊館あきつお(四万十市)
- 海洋堂かっぱ館(四万十町)



【カヌー、SUP等】

- ★SUP・スゴイスports(日高村)
 - ★カヌー・かわらっこ(四万十市)
 - ★カヌー・カヌー館(四万十市)
- ### 【遊覧船】
- ★仁淀川観光遊覧船・屋形舟仁淀川(日高村)
 - ★川舟下り・四万十かっぱ組合(四万十町)
 - ★四万十川観光遊覧船・さこや、カヌー館、なつとく、四万十の碧、(四万十市)



【サイクリング】

- ★レンタサイクル・観光協会(いの町)
- ★レンタサイクル・屋形船仁淀川、村の駅ひだか(日高村)
- ★四万十川レンタサイクル・観光協会(四万十市)



【渓谷ガイド】

- ★中津渓谷ガイド・仁淀ブルー協議会(仁淀川町)
- ★安居渓谷ガイド・仁淀ブルー協議会(仁淀川町)



【バーベキュー】

- ★バーベキュー・ここにこ館(いの町)



海

- 室戸世界ジオパークセンター★ジオガイド、サイクリング(室戸市)
- 室戸ドルフィンセンター★イルカふれあい(室戸市)
- むろと廃校水族館(室戸市)
- 白浜キャンプ場★キャンプ(東洋町)
- ヤ・シィパーク★キャンプ(香南市)
- 桂浜水族館(高知市)
- 興津青少年旅行村★キャンプ(四万十町)
- オートキャンプ場とまるっと★キャンプ(四万十市)
- 県立足摺海洋館(土佐清水市)
- 足摺海底館(土佐清水市)
- 貝類展示館海のギャラリー(土佐清水市)



【スキューバダイビング】

- ★ダイビング・四万十ダイブ(四万十町)
- ★沖の島体験ダイビング・パシフィック(宿毛市)
- ★ダイビング・フィナウス、マリンドーム柏島(大月町)

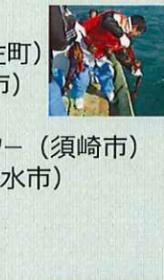


【SUP】

- ★SUP・COMODO URANOUCI(須崎市)

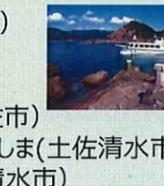
【漁業体験、釣り】

- ★漁業体験・漁協上ノ加江支所(中土佐町)
- ★しらす漁見学+ちよい釣りツアー(安芸市)
- ★船釣り・フィッシングスター(高知市)
- ★船釣り、磯渡し、貝採り・観光漁業センター(須崎市)
- ★竜串で船釣り体験・西本渡船(土佐清水市)
- ★釣り・うぐるBOX(宿毛市)
- ★釣いかだ・渡船振興会(須崎市)
- ★釣り筏と釣り堀・釣筏幸丸(須崎市)
- ★ファミリーフィッシング・観光協会(宿毛市)



【遊覧船、クルーズ】

- ★土佐湾クルージング・ドラゴン広場(土佐市)
- ★グラスボート・竜串観光汽船、物産館ながしま(土佐清水市)
- ★足摺クルージング・岡野渡船(土佐清水市)
- ★足摺岬観光船・英丸(土佐清水市)
- ★漁船で巡るジョン万次郎体験ツアー・観光協会(土佐清水市)
- ★竜串見残し奇岩パトカー・竜串観光汽船(土佐清水市)



【料理体験】

- ★薫焼きかつお丼体験・海の駅とろむ(室戸市)
- ★かまぼこ作り・土佐魚市場(須崎市)
- ★郷土料理体験・すくも湾漁協栄喜婦人部(宿毛市)



【ものづくり体験等】

- ★天日塩づくり体験(田野町)
- ★天日塩づくり・ソルティープ(黒潮町)
- ★さんごアクセサリー作り・観光協会(宿毛市)
- ★ビーチコーミング・砂浜美術館(黒潮町)
- ★竜串ジオガイド(土佐清水市)



歴史・文化・生活など

- 内原野陶芸館★陶芸、ガラス体験(安芸市)
- 芸西村伝承館★白下糖炊き上げ(芸西村)
- 高知よさこい情報交流館★鳴子づくり(高知市)
- 日曜市(高知市)
- ひろめ市場(高知市)
- 海洋堂ホビー館四万十★ジオマ作り(四万十町)
- キラメッセ室戸 鯨館(室戸市)
- 中岡慎太郎館(北川村)
- 岡御殿(田野町)
- 安田まちなみ交流館・和(安田町)
- 安芸市立歴史民俗資料館(安芸市)
- 絵金蔵(香南市)
- 創造広場「アクトランド」(香南市)
- 県立歴史民俗資料館(南国市)



【ものづくり体験】

- ★陶芸体験・NISHIDA(高知市)
- ★陶芸体験・もりたうつわ製作所(土佐市)
- ★ガラス体験・ガラス工房とち(南国市)
- ★とんぼ玉作り、吹きガラス体験・海辺のガラス工房(黒潮町)
- ★紙漉き体験・紙の博物館、くらうど(いの町)
- ★はた織り体験・はた舎(いの町)
- ★数珠づくり・珊瑚工房花虫八放(土佐市)
- ★土佐打刃物工房見学(土佐市)
- ★刃物鍛造体験・迫田打刃物製作所(須崎市)
- ★草木染め体験・かわらっこ(四万十市)
- ★スタンプでTシャツづくり・砂浜美術館(黒潮町)
- ★硯づくり・村硯加工生産組合(三原村)



【料理体験】

- ★こけら寿司作り・体験教室(東洋町)
- ★手打ちそば、ピザ焼き体験・汗見川ふれあいの郷清流館(本山町)
- ★こんにゃく作り、そば打ち、手作りピザ・集活センター柳野(いの町)
- ★田舎寿司作り・集活センターであいの里蟻川(黒潮町)
- ★ピザ焼き体験・集活センターほっと平山(香美市)
- ★ピザ焼き体験・集活センターたいご岩(佐川町)
- ★パウムクーヘン作り・ほどの(いの町)
- ★キムチ作り・集活センター「はつせ」鷹取(梶原町)



【文化体験等】

- ★乗馬体験・南国ホースパーク(南国市)
- ★天体観測・四万十天文台(四万十市)
- ★着物体験・観光協会(四万十市)
- ★はし拳体験・観光協会(宿毛市)



【まちあるき】

- ★なはりまち歩き・集活センターなはりの郷(奈半利町)
- ★町並みガイド・観光ボランティアの会(安芸市)
- ★芸西村あるき・芸西村文化資料館(芸西村)
- ★まち歩き・高知城下の会、龍馬の生まれたまち記念館(高知市)
- ★まち歩き・いの町ガイドくらぶ(いの町)
- ★まち歩き・佐川くろがねの会(佐川町)
- ★まち歩き・まちかどギャラリー(須崎市)
- ★脱藩ウォーク・であいの会(梶原町)
- ★散策ガイド・あちこちたんね隊(四万十町)
- ★足摺七不思議ガイドツアー・観光ボランティア会(土佐清水市)
- ★すくも町歩き・宿毛観光市民ガイドの会(宿毛市)
- ★お遍路体験・観光協会(宿毛市)



自然&体験
キャンペーン
特設サイト
QRコード

詳しくは
←こちら

自然&体験キャンペーンに向けた観光拠点の整備、 観光資源の発掘・磨き上げ等の取組への支援

展開イメージ



① 観光拠点等整備事業費補助金

目的

地域が主体となった全国からの誘客につながる観光地づくりを推進するため、産業振興計画に位置付けられた取組などを対象に、自然景観や体験型観光資源の磨き上げ、観光拠点の整備及び観光資源の発掘、磨き上げ等の取組を総合的に支援する。

- 補助事業者：①～④市町村等、⑤「土佐の観光創生塾」受講者
- 補助率：1 / 2 以内※①についてはクラスター形成による周遊促進に係る経費、整備に係る基本構想の策定等については2 / 3 以内
- 補助対象経費

① 自然体験型観光資源強化事業

(補助限度額：50,000千円、別途要件を満たす場合3億円または6億円(1補助事業当たり))
自然景観や体験型観光資源の磨き上げ、体験型観光拠点の整備など、観光客の滞在日数、観光消費の拡大など、地域での持続的な観光振興につながる取組への助成

② 観光拠点整備事業

(補助限度額：50,000千円、別途要件を満たす場合3億円または6億円(1補助事業当たり))
広域観光のシンボルとなる観光拠点の整備や歴史資源の磨き上げ、観光客の滞在日数、観光消費の拡大など、地域での誘客振興につながる取組への助成

③ 観光商品磨き上げ事業

(補助限度額：50,000千円(1補助事業当たり))

既存の観光商品のさらなる磨き上げや新たな観光商品の創出など、観光客の増加を図る取組への助成

④ 観光資源創出支援事業

(補助限度額：100千円～2,000千円(1市町村等当たり))

新たな事業の立ち上げや試行段階の取組への助成

⑤ 地域観光クラスター化支援事業

(補助限度額：500千円～2,000千円(1補助事業当たり))

地域において事業者が連携して周遊化や事業規模の拡大に向けた地域観光クラスターを形成する取組への助成
「土佐の観光創生塾」受講者が中心となり2事業者以上が連携した取組

② 地域観光推進交付金(平成29年度債務負担行為予算の歳出予算化)

目的

平成29年度から平成30年度までに観光拠点整備事業を実施した取組のうち、要件を満たすものについて、後年度の交付金により観光拠点の整備を支援する。

- 交付先：観光拠点整備事業を実施した市町村
- 交付額：観光拠点整備事業の補助対象経費の1 / 15 以内
- 交付年度：原則として、本交付金の算定対象となる事業の完了年度の翌年度以降5年以内に交付

③ 地域観光振興交付金(平成30年度債務負担行為予算の歳出予算化)

目的

地域が主体となった全国からの誘客につながる観光地づくりを推進するため、産業振興計画に位置付けられた取組などを対象に、市町村等において、国の財政支援制度(交付税措置のある地方債、地方創生推進交付金等)を活用して実施する観光拠点の整備や観光資源の発掘、磨き上げの取組等を総合的に支援する。

- 交付先：市町村、一部事務組合又は広域連合
- 交付率：国の財政支援制度に応じて算定
- 交付対象経費：本交付金の算定対象事業に関連する事業に係る経費(減債基金等の基金への積立金、元利償還金等)
- 交付年度：原則として、本交付金の算定対象となる事業の完了年度の翌年度に一括交付

H31年度 土佐の観光創生塾

【目的】自然・体験型観光キャンペーンの取り組みと連動し、一定の品質を確保した着地型旅行商品の造成・磨き上げを行い、継続した販売に繋げるとともに、地域での消費拡大を目指した事業者同士の連携を促進する。また、観光地域づくりを推進するための知識を学び観光事業者等の人材育成を図る。

「土佐の観光創生塾」の取り組み・成果（H27年度～）

課題等

H31年度の方角性

【H27～29年度累計】

商品造成・磨き上げ(アイデア含む)：
199件

旅行会社等販売：82件

【H30年度予定（10.31時点）】

商品造成・磨き上げ(アイデア含む)：74件

旅行会社等販売：45件

参加者：応用編 64事業者

基礎編 延べ195人

販売された主な商品

- ・伊尾木洞体験ガイド
- ・野根山街道トレッキングツアー
- ・室戸ドルフィンセンター×むろと廃校水族館セットプラン
- ・銘菓かんざし作り体験&お菓子工場見学宿泊プラン
- ・浦戸湾クルーズ
- ・和舟船頭体験
- ・大堂柏島青と白の絶景ウォーク
- ・黒潮町ハーバリウム体験付き宿泊プラン
- ・若山椿和紙紙漉き体験

【全体】
・新たな受講生を掘り起こしていく必要がある。

【基礎編】
・受講生の参加目的にばらつきがあり、講義内容に物足りなさを感じている受講生がいる。

【応用編】
・事業戦略策定は収支状況等の情報を扱うため塾内での対応が困難。
・個別商品の造成・磨き上げがメインのためワークショップが共通の課題解決の場になっていない。

◆基礎編

県の観光政策や最新の観光のトレンドを学ぶ講座を観光事業に既に取り組んでいる方から興味・関心のある方まで幅広く対象として開催し、新たな受講生の掘り起こしと育成につなげる。

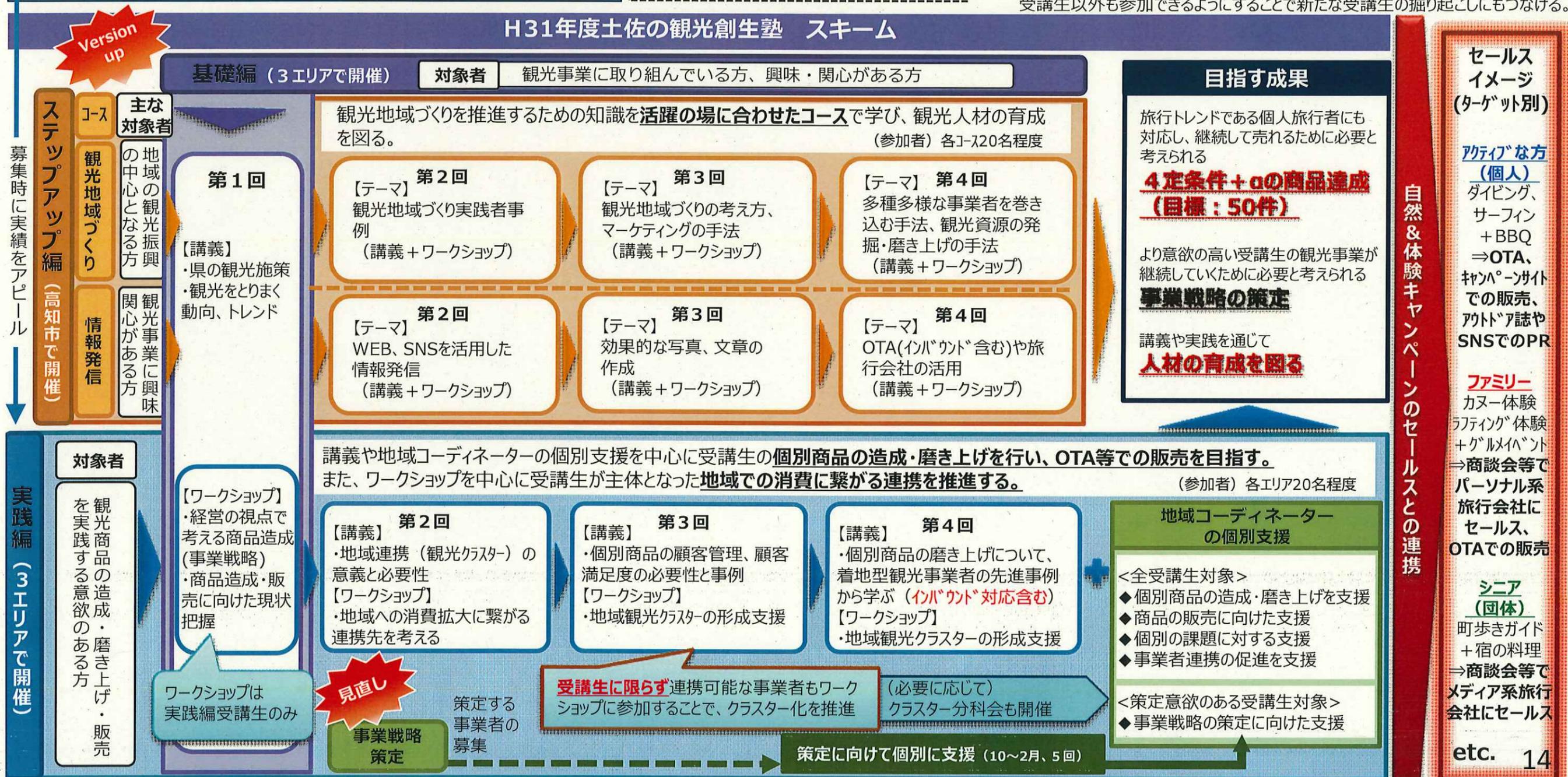
◆ステップアップ編

活躍の場に合わせたコース設定と講義+ワークショップ形式で開催することで、実践に繋がるスキルを習得できるようにする。

◆実践編

観光商品の造成・磨き上げ・販売を実践する事業者を対象とし、事業戦略は策定意欲のある受講生を対象に別に個別支援の場を設定する。
ワークショップのテーマをクラスター形成とし、共通の課題解決の場にする。また、受講生以外も参加できるようにすることで新たな受講生の掘り起こしにもつなげる。

H31年度土佐の観光創生塾 スキーム



自然&体験キャンペーンのセールスとの連携

- セールスイメージ (ターゲット別)**
- アクティブな方 (個人)**
ダイビング、サーフィン + BBQ
⇒OTA、キャンペーンサイトでの販売、アウトドア誌やSNSでのPR
 - ファミリー**
カヌー体験、ラフティング体験 + グルメイベント
⇒商談会等でパーソナル系旅行会社にセールス、OTAでの販売
 - シニア (団体)**
町歩きガイド + 宿の料理
⇒商談会等でメディア系旅行会社にセールス
- etc. 14